宝の都（くに）・大崎～ずっとおおさき・いつかはおおさき～

 第2次大崎市総合計画・後期基本計画などを策定しました

　市民の皆さんの生活やまちづくり、産業の振興などに関するさまざまな計画が新たにスタートしました。

　特に、市の目指すべき発展の方向性と、施策の基本的方向などを示す最上位計画となる「第2次大崎市総合計画・後期基本計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）」では、世界中に感染が拡大し、生活や地域経済に大きな影響を与えた、新型コロナウイルス感染症を大きな社会要因として含めました。その上で、感染症対策や新しい生活様式、デジタルトランスフォーメーション（DX）の視点から、まちづくりに求められる環境の変化に対応した施策を、計画的・総合的に推進することとしました。

　また、計画の策定に当たっては、審議会などによる検討のほか、市民説明懇談会や未来のまちづくりを担う高校生などを対象としたワールドカフェ、市民意識調査などを通じて、これまでの市の施策に対する評価、今後のまちづくりへの期待など、大崎市で暮らし、働く人と市の将来像について意見交換を行いながら策定しました。

　これから各種計画に基づきながら、まちづくりの将来像である「宝の都（くに）・大崎」の実現に向けて取り組んでいきます。

写真：「宝の都（くに）・大崎」を目指して

写真：さまざまな計画を見直しました